

# 今、何の病気が流行しているか！

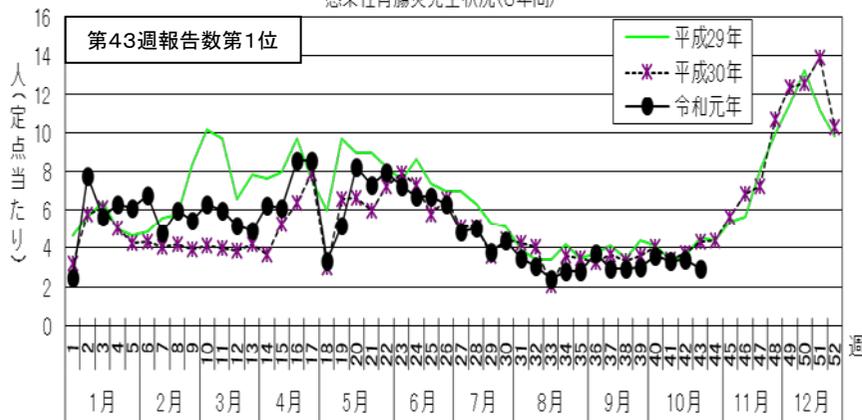
## 【感染症発生動向調査事業から】

令和元年10月21日（月）～令和元年10月27日（日）〔令和元年第43週〕の感染症発生状況

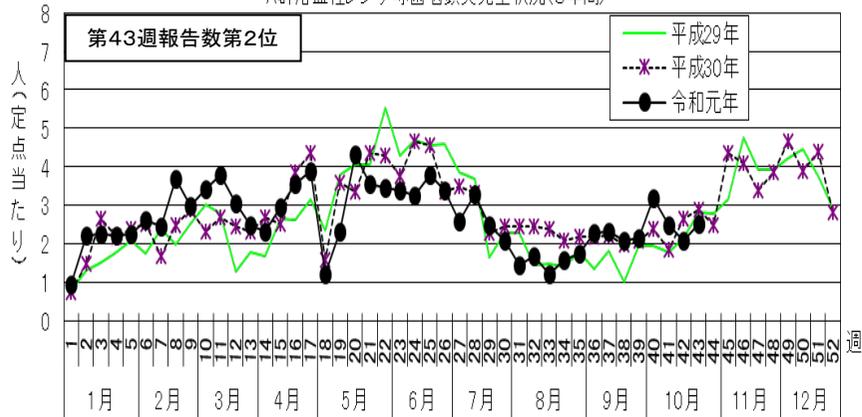
第43週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 手足口病でした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.92人と前週（3.38人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.54人と前週（2.08人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 手足口病の定点当たり患者報告数は2.19人と前週（1.97人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



## 高齢者対象のインフルエンザ定期接種実施中

川崎市における令和元年第43週（10月21日～10月27日）のインフルエンザの定点当たり報告数は0.90人となり、第39週（9月23日～9月29日）以降4週連続で増加しています。流行開始の目安である定点当たり1.00人は超えていないものの、市内の複数の小学校で学級閉鎖も報告されており、流行期入りが近いと考えられます。

インフルエンザは高齢の方が感染した場合、重症化の懸念があるため、早めのワクチン接種を心掛けてください。

### 高齢者を対象とした定期のインフルエンザ予防接種

#### <対象となる方>

川崎市にお住まいの方で、次の①または②に当てはまる方

- ① 接種日に満65歳以上の方
- ② 接種日に満60歳～65歳未満の方
  - ・心臓、腎臓、呼吸器の機能障害（障害1級程度）のある方
  - ・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害（障害1級程度）のある方

接種の際は、住所及び年齢を確認できるもの（健康保険証等）をお持ちください。

#### <実施期間と回数>

令和元年10月1日～12月31日の間に1回

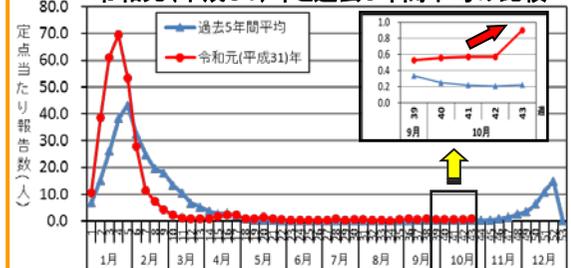
#### <接種を受けられる場所>

川崎市予防接種個別協力医療機関  
 （市が指定した市内約600か所の医療機関）

#### <自己負担金>

2,300円（接種を受けた医療機関にお支払いください。）

川崎市におけるインフルエンザ発生状況  
 令和元(平成31)年と過去5年間平均の比較



### 今シーズンのワクチンについて

今シーズンのワクチンは、A型2種類、B型2種類の計4種類が含まれています。

- A/H1N1亜型（2009年以降の流行株）
- A/H3N2亜型（いわゆるA香港型）
- B型（山形系統）
- B型（ビクトリア系統）

※A/H1N1亜型及びA/H3N2亜型のワクチン株は昨年度と異なります。